



## 歯科医師コラム 3



### VOL.4 インプラント

H28.12

下顎の奥歯 2 本がない、というようなケースですと、昔は取り外しの入れ歯を入れるしか方法はありませんでした。ところが、見た目は小さな入れ歯でも、装着すると違和感が強く、じゃまになって話せない、食べられない、いらいらするなど、慣れるまではそれはそれは大変！慣れてしまえばどうということもないことなのですが、多くの人は、その初体験に戸惑うばかり。なぜか入れ歯は、入れたらすぐに噛んで使いこなせるものと思い込んでしまっているのですね。義足を初めてつけて、即座に自由自在に歩ける人はいないと思うのですが。ただし強過ぎる「歯ぎしり」「食いしばり」は、歯が磨耗したり割れたり、歯周病を進行させたり、頭痛、肩こりといったトラブルを引き起こします。

このような症例では私達歯科医師側も、患者さんをなだめすかして説得して、入れ歯を入れないことが、どんなに大変な弊害をもたらすかと、こんこんと諭すしかなくて、それが一役でした。

現在インプラント技術が進歩したおかげで、患者さんも私達歯科医師側も、ずいぶん楽になったように思います。もちろん、すべての症例に簡単にできるわけではなく、骨を削る手術という体への侵襲を与えるので、リスクゼロというわけにもいきませんが、入れ歯に比べれば、違和感も無く、気分の良いものでしょう。

インプラントの利点と欠点、不応症について、表1と2を参考にしてください。

X線診査は、必ずCT撮影もして顎骨の厚みや骨密度まで、しっかりと把握していきます。

手術は誰しもがこわくていやなもの。そんな時には、首肩の凝りをとるための指圧マッサージや足の反射療法を術前に行って、副交感神経を優位にし、ゆったりとリラックスしてもらうことが大切です。そうすれば、血液やリンパの循環も良好になり、

自然治癒能力も活性化するのです。術中もツボに対する低周波通電刺激を行えば、術後の疼痛、腫脹などの不快症状は、ほとんどゼロです。

そして大切なことは、インプラントも自分の歯と同じで、しっかりブラッシングしてメンテナンスをすることが基本。これだけは、いつも忘れないようにしたいものです。

#### インプラントの利点・欠点

利点 1. ほかの健康な歯を全く削る必要がない

2. 自分の歯を同じように咬むことができる

3. 自然な外観を回復することができる

欠点 1. 保険適応外なので多少高価である

2. 手術をしなくてはならない

3. インプラント体が骨に付くまで2~6ヶ月かかる

#### インプラント治療が難しい場合



1. 糖尿病や高血圧症などの全身疾患の症状が重く、病気のコントロールが難しい方

2. プラークコントロールができていない方

3. インプラントを埋める場所の骨の量や密度が不足している方

4. ヘビースモーカーの方

5. 歯軋りやくい縛りがひどい方



## 小山悠子略歴

1977年(昭和52年) 日本大学歯学部卒業

医療法人社団明徳会福岡歯科勤務

2011年(平成23年) 医療法人社団明悠会サンデンタルクリニックを設立。  
理事長就任。

統合医療の新しい考えをもとに、痛くない怖くない東洋医学的療法を取り入れた歯科治療と、女性ならではのこまやかな心配りが、患者さんに喜ばれている政財界、芸能界、文化人の有名患者さんも多い。

### 医学博士

日本歯科東洋医学会常任理事・認定医・専門医

日本統合医療学会代議員・指導医

愛知学院大学歯学部講師

東京商工会議所女性会理事

